

ハタハタ

日本海海域

Arctoscopus japonicus

地方名
かみなりうお



生態

- ①寿命：約5年
- ②成熟：オス1歳（全長15cm）以上
メス2歳（全長21cm）以上
- ③産卵期：11月下旬～翌年1月
- ④産卵場：水深2m～10mのホンダワラ類の藻場。
- ⑤分布：北海道沿岸、秋田県男鹿半島を中心とした日本海沿岸、朝鮮半島東部沿岸。
- ⑥生態：水深150m～400mの砂泥域に生息。
食性は端脚類、橈脚類、オキアミ類、イカ類。

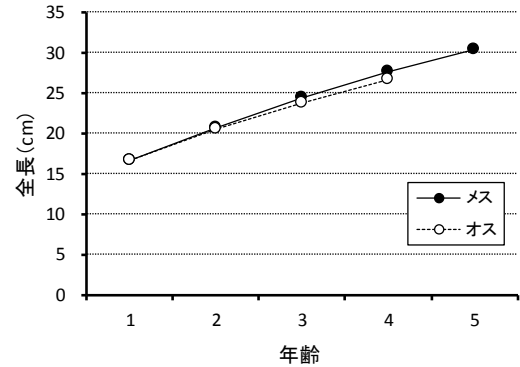


図 日本海海域におけるハタハタの成長

主な漁業

定置網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は11月下旬～12月。1歳魚から漁獲される。

資源の動向と水準

ハタハタの漁獲量は、昭和40年～50年には大きく変動はあるものの1,000トン前後で推移したが、51年以降低迷した。平成12年以降増減を繰り返し、平成20年は日本海で1,362トンと33年ぶりに1,000トンを超えた。令和元年の漁獲量は423トンで平成30年を下回った。

令和元年の資源動向は、コホート解析により推定した資源量の直近5年間の傾きから減少と判断した。令和元年の資源水準は、長期間データを有する漁獲量を判断材料とし、その最高値と最低値の間を3等分し、上から上位、中位、低位とすると、低位であった。

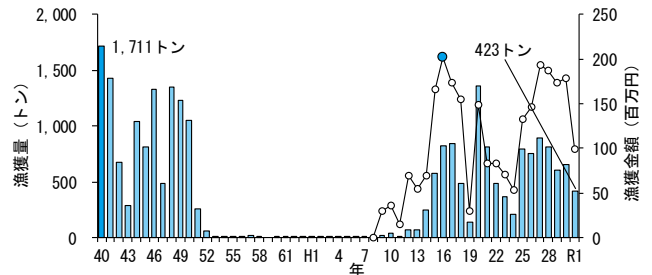


図 青森県日本海海域におけるハタハタの漁獲量の推移
※平成19年までは水産総合研究所調べ、平成20年以降は青森県海面漁業に関する調査結果書

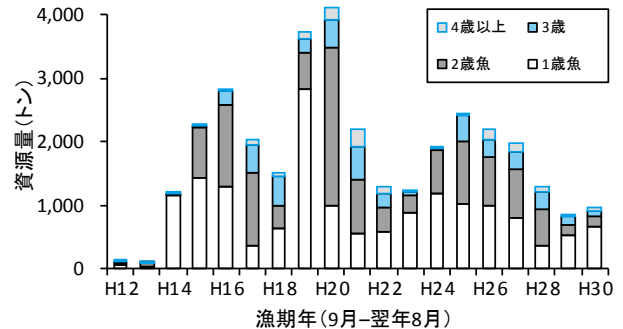


図 青森県日本海海域におけるハタハタの漁期年別資源量

資源を上手に利用するために

- 北部日本海海域ハタハタ資源管理協定（平成11年4月締結、21年4月更新）
 - ・底びき網漁業において、全長15cm未満個体の採捕禁止が定められた。
 - 日本海北部マガレイ、ハタハタ資源回復計画（平成15年7月水産庁）
 - ブリコの採捕、所持、販売を禁止している（青森県海面漁業調整規則第38条）。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。

トピックス

- ・ハタハタの漁獲量は年変動が大きいことから、漁期前に漁獲対象資源量、来遊時期、年齢組成について予測を行っている。